

事務事業名		障がい者福祉計画策定事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					事業区分	担当組織	担当部	こども福祉部	担当課	障がい福祉課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり						新規事業・継続事業	継続事業			
	施策	2 障がい者の社会参加と自立の推進						実施計画事業・一般事業	実施計画事業			
	基本事業	1 相談体制の充実						市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名	任意的事業・義務的事業	義務的事業				
	4105	一般	3	1	2	障がい者福祉計画策定事業	実施方法	直営				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H18年度～ 年度		根拠法令 条例等	障害者基本法、障害者総合支援法、佐野市障がい者福祉計画策定委員会設置要綱	事業分類	計画策定・管理事業				
							リーディングプロジェクト	該当なし				
							市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
障害者基本法に基づく「障害者計画」と障害者総合支援法に基づく「障害福祉計画」を一体的に策定する。		平成26年度は昨年度のアンケート調査を参考にして、団体とのアンケート調査を実施し、障がい者福祉計画策定委員会及び検討部会の検討を経て計画を策定した。  障がい福祉計画策定委員会会議 3回開催、検討部会会議 3回開催								
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
		アンケート調査対象件数	人	1,931	0	0	2,000	0		
		策定委員会の開催回数	回	2	3	0	2	3		
		検討部会の開催回数	回	2	3	0	2	3		
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
・障がい福祉サービスを必要としている障害のある人 ・障がい福祉サービス等提供事務所 ・市民		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
		身体障害者手帳所持者数	人	4,262	4,403	4,450	4,500	4,550		
		療育手帳所持者数	人	902	937	960	990	1,020		
		精神障害者保健福祉手帳所持者数	人	770	821	830	860	890		
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
障がいのある人の社会参加や自立を支援し、だれもが共に暮らしている社会となることを目指す。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
		策定された計画数/策定予定計画数	%	0	100	0	0	100		
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
安心して生活できる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
		サービス利用計画書等作成済数	人	486	882	880	900	920		
		相談支援(指定特定含む)事業所数	箇所	3	6	4	5	6		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	450							
	一般財源	千円	681	523	0	1,483	1,175			
	事業費計(A)	千円	1,131	523	0	1,483	1,175			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	120	報償金	212	報償金	125	報償金	235
			通信運搬費	204	業務委託料	311	通信運搬費	270	通信運搬費	0
業務委託料			807			業務委託料	1,088	業務委託料	940	
人件費	人	1	3	0	1	1				
のべ業務時間	時間	100	150	0	5	5				
人件費計(B)	千円	389	591	0	20	20				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,520	1,114	0	1,503	1,195				

事務事業名	障がい者福祉計画策定事業	担当部	子ども福祉部	担当課	障がい福祉課	担当係	障がい福祉係
-------	--------------	-----	--------	-----	--------	-----	--------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成17年2月28日に旧佐野市、旧田沼町、旧葛生町が合併し、合併以前に策定されていた障害者福祉計画がなくなり、新市建設計画を基本として、施策を推進してきたが、平成18年度において、障害者基本法及び障害者自立支援法に基づく計画を一体的に策定した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	平成18年4月より障害者自立支援法が施行され法に3年後計画の見直しが明記されているため、障がい福祉計画を策定する必要性が生じた。平成22年12月には同法が改正となり、平成25年4月から同法は障害者総合支援法へと改正になった。そのため、策定に当たり法改正部分も考慮する。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	概要版を全世帯に配布するなど、広く市民に計画の内容を周知するよう要望を頂いた。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
現状維持	平成26年度は予定どおり障がい者福祉計画策定を行った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 障がいのある人の社会参加や自立を支援し、誰もが共に暮らしている社会となることを目指した計画を策定することは、政策体系に結び付く。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 障害者基本法および障害者自立支援法において、市町村計画を策定しなければならないことが位置づけられており、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 対象としては、サービス等を受ける障がい者、サービスを提供する事業所、また障がい者のノーマライゼーションを進める上で、市民の理解が不可欠のため、市民も対象とした。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 前計画の評価をしながら、社会情勢を見据えて、本市としての計画を策定しなければならないため、アンケート調査やヒアリング等を実施して、様々な意見を聴取する必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 計画策定について今回は直営で実施し、委託料を削減したが、これ以上削減する余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 受益者負担の余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	法令で定められた事業であり、終了はできない。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
休止 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 平成27年度は計画策定を休止し、平成28年度再開の予定。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					